



カナダ短期留学報告（その3）

NO.88

カナダ短期留学に参加した生徒のレポートの最後になります

カナダ留学を終えて

高校2年2組 垣貫 惟周

カナダでの日々は、ただただ楽しいだけなのにたくさんの新鮮で画期的な体験ができる、まさに最高のもの、というわけではなくて、毎日悩んで、考えて、苦悩しながら何とか乗り切った大変なものだった。でも、二か月半をカナダで過ごせて本当に良かったと、今では心から思っている。

カナダでいろいろなことを経験したが、中でも印象に残っているのは、ホストファミリーとの時間だ。

家に着いた次の日に、私たちはユダヤ教徒で、決まりがあるから守ってくれ、と言われた。ユダヤ教にはいろいろな決まりがあることは知っていたのだが、ミルクを使う料理用とそれ以外用のキッチンが分かれているからお皿を使い分けるとか、豚肉は彼らは食べないし、私は食べても良いが絶対に家に持ち込んではいけないなど、初めに聞いたときは、「え、なんで？」と、なぜそうするのか理解できないことばかりだった。何回か宗教行事にも参加させてもらって、ユダヤ教の成り立ちとか、神話とかも聞かせてもらって、それでもわけがわからなかった。

ほかにも、（ユダヤ教とは関係ないと思うが）ホストマザーがホストブラザーに厳しく当たっているのを見るのが辛くて悩んだり、腹立たしく思ったりしたこともあった。ほんの5秒前まで楽しそうに笑っていたのに急に声を荒げて怒鳴り始めたこともあったし、うまく言葉にはまとめられないけど、とにかく今まで生まれ育って当たり前だと思っていた日本の文化や、自分の家族の雰囲気と全く違うものを目の当たりにして、衝撃だった。

きちんと理解できるまでは至らなかったものの、違う価値観をもつ彼らと家族として暮らせたこと自体が貴重な経験なんだと思う。トロントでいろいろなルーツを持つ人々と話したのもそうだが、日本で暮らしてはあまり関係のない、人種の問題を身近に感じられるし、



違う考え方をすることで自分を見つめ直すことができるからだ。

学校でも、現地の子のノリや授業で扱う事柄、先生方との距離感など、やはり今までと違う雰囲気の中で生活できたし、英語についてもたくさん学べて、今では大好きになった。(笑)

文化や価値観の違う人々を知れたことや自分や日本を見つめ直せたことはもちろん、後になってよかったと思えるような経験がたくさんできたと思う。将来もっと力がついたら、またどこかに行ってみたい。

東京都立大学グローバル人材育成入試（高3対象）

通常の学生と同様の主専攻科目の履修と並行して、海外留学が必修のカリキュラム「国際副専攻」の科目を履修し、主専攻の専門知識に加えて、確かなコミュニケーション能力や、多様な文化に適応可能な実行力を身につけます。

海外留学の協定校：アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、オランダ、韓国、中国、台湾、タイ、マレーシア、インドネシアなど

各種経済支援制度：

国際副専攻を履修しても都立大学授業料の追加はなし。

交換留学の場合、留学先の授業料は免除。

月額給付奨学金（6～16万円）、渡航費の支援（アジア上限10万円、それ以外上限20万円）がある。

募集人数：人文社会学部 人間社会学科 2名、人文学科 2名
経済経営学部 経済経営学科 5名
都市環境学部 地理環境学科 1～2名 都市基盤環境学科 2名
建築学科 2名 環境応用化学科 1名
観光科学科 2名 都市政策学科 若干名
システムデザイン学部 情報科学科 若干名

出願要件：○英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有する者

ケンブリッジ英語検定 160以上

実用英語技能検定 準1級2300以上、1級2304以上

IELTS 5.5以上

TEAP 309以上

スコアの有効期限は過去2年以内。上記以外にも有効な検定試験もあるので詳細はHPをご覧ください。

○合格した場合、入学を確約できる者

選抜方法：学部により異なるので詳細はHPをご覧ください。

<http://www.mip.ic.tmu.ac.jp/>

トビタテ！留学JAPANプログラムについて

官民協働プロジェクトであるトビタテ！留学JAPANプログラムについては新型コロナウイルス感染拡大のために今年度の募集は残念ながら年度途中で中止となっております。今後のプログラム運営について7月31日（金）に文科省公式HPにて以下の情報が発表されましたので転載します。

「日本代表プログラム」（「大学生等コース」・「高校生コース」・「地域人材コース」）については、今年度の留学生派遣で終了する予定でしたが、同プログラムを1年延長し、今後の感染状況等を踏まえつつ、来年夏以降の派遣を想定して、追加の募集を行う方向で進めてまいります。詳細については、本年秋季以降に順次ホームページ等でお知らせします。

来夏の短期留学を個人的に考えている現中3～高1の生徒諸君は2学期になったらトビタテの公式HPを閲覧してみてください。

<https://tobitate.mext.go.jp/>

オンラインイベント紹介

外部団体の企画をいくつかご紹介します。

① ユニセフ・リーダー講座

主催：日本ユニセフ協会

対象：世界の出来事やユニセフの活動に関心のある中高生30名（抽選）

内容：①ユニセフ基礎講座：世界の子どもの状況やユニセフの活動を知ろう！

②グループに分かれて、「新型コロナウイルスと子どもの権利」について考えよう！

③話し合いの中で出てきた課題に対する解決策や、自分たちにできることをグループごとに発表しよう！

※当日は、ボイス・オブ・ユース JAPAN 事務局の大学生たちが各グループのファシリテーターとして参加予定です。

日程：8月21日（金）13：00～15：30 ZOOM を使用しオンラインで実施

参加費：無料

申し込み：8月12日（水）23:59 までに、応募フォーム(<https://forms.gle/RG2FMBGvybOmBT21A>)にてお申し込みください。

*学校ではとりまとめません。個人的に申し込んで下さい。期日が迫っているので希望者は早めに手続きを取って下さい。

② 海外トップ大学進学説明会（河合塾・AGOS主催）

8月10日（月・祝）14：00～16：00 ウェビナー形式で実施

海外トップ大学へ編入で入学した体験者からの話が聞けます。

8月16日（日）11：00～13：00 ウェビナー形式で実施

15：00～17：00 同上（但し登壇者は別）

給付型奨学金を獲得して海外で学んだ体験者からの話が聞けます。

費用は無料ですが、事前予約が必要となります。期日が迫っておりますが、希望者は個人的に申し込みをして下さい。内容の詳細は下記の Web でご確認ください。

<電話>03-3364-9557（火曜休館） <Web> <https://bit.ly/3cW18Q5>

③ 早稲田大学国際教養学部説明会

8月16日（日）13時30分～14時30分

講演：向井 滋 氏（早稲田大学 国際教養学部 Admissions Office）

内容：大学・学部紹介

SILS の魅力（カリキュラム・留学制度・キャンパスライフなど）

2021 年度の入試について（入試方式・入試変更点など）

上記講演が河合塾 AGOS×K より ZOOM でライブ配信されます。費用は無料ですが、希望者は事前申し込みが必要となります。8月15日（土）17時まで。

申し込み方法：以下の URL にアクセスしてください。

<https://www.kawai-juku.ac.jp/kaigaidai/event/>

※Zoom での説明会参加の流れは、お申し込み完了後にお送りするメールにてお知らせします。

■当日ご準備いただくもの

- ・パソコンまたはタブレット、スマートフォン（パソコンの方は Web カメラ・マイクをご用意ください）
- ・インターネット環境

*今学期は今号で最後となります。しばらくは海外に気軽に出かけることが難しくなりそうですが、日本に居ながらでもできることは探してみればいろいろとあると思います。例年より短い夏休みですが、今夏は「仕込みの時期」という意識で各自の問題意識を高めていただきたいと切に願っております。引き続き健康には十分留意して充実した夏休みをお過ごし下さい。来学期も有意義な情報提供をしていきたいと思っております。